



子どもたちの可能性を伸ばす 地域密着の個別指導を

今岡 隅田塾長は異業種を経て塾を開業させたそうですが、そのきっかけからお伺いできますか。

隅田 これまで私は常に、「この世に何かを残したい」と考えていました。音楽家なら“楽曲”、画家なら“絵”、ビジネスマンであった私は“会社”を残したいと思い起業しました。教育業界を目指したのは、シンプルに「子供が大好き」という思いがあったから。学生時代に家庭教師や塾講師の経験をしていたというのも良かったと思います。

今岡 その思いの結晶が、こちらの「個別指導 PAO」さんというわけですね。塾の特徴を教えてください。

隅田 通常、個別指導塾はブースに生徒を割り当てる形式が一般的ですが、PAOではあえて開放的な教室と机を用意しました。生徒たちにとって最高の授業になるよう、一人一人の顔が見える対面授業を基本としています。なお、集団授業で生徒全員の成績を上げるのは不可能だと私は考えています。

今岡 顔を見るということには、どのような意図があるのでしょうか。

隅田 指導するにあたっては、子供たちが今何を思っているのかということ、表情から読み取ることが大切だと考えています。例えば手が止まっている生徒が

株式会社 スタートアップ 個別指導 PAO

〒 561-0884 大阪府豊中市岡町北 2-4-1
TEL 06-6846-2744 / FAX 06-4865-9291
URL <http://www.pao-okamachi.com>

Company data



代表取締役 隅田 崇

専修大学、米国ジョージワシントン大学を経てメーカーに勤め、後に大手不動産会社に転職。2001年に個別指導 PAO を大阪府吹田市江坂に設立する。2007年に塾舎を豊中市岡町に建設して移転し、現在に至る。

いたとして、“必死になって考えている”のか“困っている”のかというのは、相手の表情を見ていれば分かります。必死になって考えているなら待ってあげますし、困っているときはヒントを与えてあげるようにしています。

今岡 では、子供たちに指導する際はどんなことを伝えておられるのですか。

隅田 1つは、設問に対し正しいアプローチをして正しいステップを踏むことの大切さを伝えています。正しい解き方で10問全ての問題を正解する——これを繰り返していくのです。100問の問題を解くのではなく、10問の問題を10セット解くイメージです。そしてもう1つは、挑戦する姿勢を持つことです。「習っていないからできない」といって問題を解こうとしない子も多いですが、それを続けていると、「考える力を養うことを放棄する」ということにもなりかねません。

今岡 正しい解き方、正しい学習姿勢が身につけば、後の人生

でも必ずプラスになるでしょうね。最後に、今後の塾運営における目標を聞かせてください。

隅田 今のこの仕事は私の天職。一先生として、今後も子供たちとしっかり向き合っていきたいと思っています。そしてこれからも塾生にとっての、最高の応援団長であり続けたいですね。



Guest Comment 今岡 誠 (野球評論家)

「47点を取った生徒が『100点を取りたい』と言ってきてくれた」というエピソードを嬉しそうに語ってくれた隅田塾長。そうした生徒のモチベーションを引き出す指導は、きっと将来大きな花を咲かせることでしょ。塾を巣立った生徒たちの活躍が、私も楽しみです。



◀ 豊中市岡町にある個別指導 PAO。塾のHPトップに「『はてな？』が『なるほど!』に変わる面白さを知れば、勉強はもっとたのしくなる!」とあるように、じっくり丁寧な個別指導を通じて多くの生徒の学力向上をサポートしている。「集中力がない」「成績が伸びない」「部活が忙しくて勉強に手が回らない」といった生徒にとって最適な塾であると言える